

第 4 回 JTTRI グローバルセミナー

「シンガポールにおけるモビリティの変革～鉄道政策に焦点を当てて～」
開会挨拶

皆様こんにちは。運輸総合研究所会長の宿利正史です。

皆様それぞれにお忙しい中、本日も大変多くの皆様が会場にご来場いただき、また、国内外からオンラインで視聴されていらっしゃると思います。真にありがとうございます。

さて、本日は「第 4 回 JTTRI グローバルセミナー」として、シンガポール陸上交通庁のチュア副長官をお招きし、「シンガポールにおけるモビリティの変革～鉄道政策に焦点を当てて～」というテーマで開催いたします。今日、我が国が抱える交通運輸及び観光分野の諸課題を解決し、あるいは乗り越えて前進するためには、国際的な情勢・動向や国際的な知見を正確に把握し、十分に咀嚼し、比較検討した上で、日本にとって最善の政策を策定し、実行することが不可欠です。そこで、当研究所では、交通運輸及び観光に関連する重要な国際情勢や政策の動向等について、海外の有識者や当事者から直接に講演や対談をしていただき、考察を深めるための「JTTRI グローバル・セミナー」を 2022 年から開始しました。本日は、このシリーズの第 4 回目です。

本年 1 月には、このシリーズの第 3 回目として、英国から Imperial College London のスミス名誉教授をお招きし、「欧州の鉄道政策が向かう未来とは～日本と欧州の鉄道政策を比較して」というテーマで開催しました。今回は、自国の経済社会の発展を支え、また国民の Quality of Life の向上を図るため、極めて短期間で、鉄道ネットワークの整備・拡大を進め、また、我が国よりも 20 年以上も前に鉄道の完全自動運転を始めるなど、鉄道分野において目覚ましい政策展

開を進めているシンガポールにおいて、一貫してその責任者として政策の遂行に当たってこられた陸上交通庁のチュア副長官にご登壇いただき、基調講演とパネルディスカッション・質疑応答を通じて、日本とシンガポールが互いに最新の状況や政策を共有し、両国の今後の鉄道やモビリティに関する政策の推進の手掛かりを得るべく、本日のセミナーを開催することとした次第です。

シンガポール陸上交通庁からは、チュア副長官と共に、鉄道のメカニカル分野をご担当の、Senior Project Engineer (上席プロジェクト技官) Jamie さんもわざわざこのセミナーのために来日していただいています。チュア副長官と Jamie さん、真に有難うございます。

チュア副長官のご略歴については、後ほど司会者からご紹介いたしますが、私からは、国際高速鉄道協会 (IHRA) の活動を通じた、10 年余に及ぶチュア副長官との交流・連携の一端をご紹介したいと思います。

..... (途中 略)

では、チュア副長官、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

次に、公務ご多忙の中、本日来賓のご挨拶をいただきます国土交通省の上原淳国土交通審議官に、御礼申し上げます。上原国土交通審議官には、昨年 12 月にベトナムのハノイで、日越外交関係樹立 50 周年記念認定事業として当研究所がベトナム運輸省と共催したセミナー「持続可能な交通インフラの整備と運営」において、鉄道を含めた日本の経験について基調講演をしていただきました。上原様は、1995 年から 1998 年まで在タイ日本国大使館で一等書記官として勤務され、我が国の技術協力・経済協力によるバンコク初の地下鉄ブルーラインの整備やスワンナプーム国際空港の整備などを推進されました。現在は国

土交通審議官として、国土交通省の国際関係業務全般を率いておられます。

また、本日のパネルディスカッションにご登壇いただきます、東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻の福田大輔教授、東急電鉄株式会社取締役副会長の城石文明様、東京地下鉄株式会社常務執行役員の山上範芳様に御礼申し上げます。

福田先生は、当研究所の運営委員であり、当研究所が昨年 6 月に政策提言を行った「2050 年の日本を支える公共交通のあり方」の検討委員会で、地域内交通小委員長をお務めいただきました。一方、東急電鉄の城石様と東京メトロの山上様には、それぞれ当研究所が米国公共交通協会 (APTA) と共催で開催した国際セミナー等にご登壇いただきました。城石様には、コロナ禍の 2021 年 12 月に開催した日米鉄道オンライン・カンファランス「コロナ・パンデミックからの回復とレジリエンス確保に向けた日米両国の鉄道業界の戦略と取組み」において、「コロナ禍の影響と対応」と題してオンラインで発表していただきました。また、山上様には、本年4月に米国のワシントン D.C.で開催した日米鉄道シンポジウム 2024「持続可能な社会の実現のに向けた価値の創造」で、「鉄道による都市の魅力・レジリエンスの向上」をテーマとするパネルディスカッションで、都市鉄道における自然災害への対応を中心に、議論していただきました。

なお、本日のパネルディスカッションの後半には、いつものようにご参加の皆様との質疑応答の時間も用意しています。また、今回は、特別に、閉会挨拶後に、会場参加者のうち希望される方のために、パネリストと個別に、ご挨拶などをしていただけるよう、わずかではありますが、そのための時間を設定しております。

最後になりますが、本日のグローバルセミナーが、ご参加いただいています皆

2024 年 5 月 30 日

様にとりまして、新たな気づきや、今後の取組みへの有益な示唆に富むものとなりますことを祈念しております。本日は、皆様ご参加いただきまして、真にありがとうございます。